

発行所
山形県立寒河江工業
高等学校PTA
山形県寒河江市緑町148
電話(86)4278

第75号
平成31年3月3日



今年の思い出



日頃より皆様にはPTA活動に多大なご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

早いもので今年度も終わろうとしています。振り返ってみるとPTA活動を通じて多くの出会いがあり、さまざまな活動の取り組みや話し合いの場がありました。

五月に山形工業高で行われた村山地区高P連総会では各校の方々と話し合いなどもあり他校でのPTA活動への取り組みなどを聞きとても勉強になりました。共に、良い刺激になり私自身も責任感を持って活動しなければと感じました。

学校行事では、入学式・PTA総会・後援会総会・評議員会等への参加。後援会総会においては、後援会の皆様が温かく生徒達を見守ってくださっていること、そして寒河江工業から素晴らしいエンジニアが多く企業へ貢献することに期待されていることを感じ、寒河江工業は後援会無しでは語れないと思いました。

みこし祭りでは生徒とPTAのみなさんが一丸となって最後まで頑張ったことが良い思い出です。

また、地区PTAのボランティア活動には参加できなかったのですが、寒工祭にて各地区の活動報告を拝見し多くの保護者の皆様より参加し

て頂きありがとうございます。各専門部の活動につきましても改めて感謝申し上げます。

PTA会長として過ごした日々はあっという間でしたが、学校のこと、地域のこと、そして何より生徒達のことを一生懸命考えながら、同じ時間を過ごせたことはとても貴重な経験であり、幸せな時間でした。私は仕事でも学校にお邪魔する機会が多々あるのですが、生徒達の礼儀正しきしつかりとした挨拶、高校総体・体育祭・寒工祭・授業、実習等に真剣に、そしてがむしやらに取り組みむ姿がとても誇らしく見えております。

PTA活動を振り返り



PTA会長
奥山 悦史

待しております。

PTA会長という大役にもかかわらず、至らぬ点ばかりでしたが、多くの方々の温かいご指導とご協力のお陰で一つずつ解決することが出来ました。会長の役からは離れますが、この経験を生かし、これから子供達の健やかな成長を願い、積極的に協力していこうと思っております。

最後に、PTAに関わってくださった保護者の皆様、後援会の皆様、先生方、すべての方へ心より感謝申し上げます。一年間本当に世話になりました。ありがとうございます。

各専門部より

今年度を振り返って

総務部長 森田 哲

四月から総務部長を引き受け今年度のPTA活動も残りあとわずかになりました。総務部長になりあつたという間の一年、わからない事ばかりで迷惑をお掛けした事と思います。皆様からは、どんな時も温かく見守っていただき感謝しております。

総務部の活動は、PTA活動全般の推進、各会議等への参加。また育成部、文教部等他の専門部との連帯を通して活動を行ってきました。そして生徒達がより良い学校生活を送れるよう色々な事に参加し活動してきたつもりです。PTAの役員を最初は自分ができるのだろうか？不安いっぱい引き受けさせて頂きましたが、活動してきて三年間、振り返って今思う事は、子供の成長を間近で見た事、また色々な先生方と話す機会等があり発言する機会も増え自分も勉強し成長させて頂きました。

最後に、すべての活動には参加できませんでしたが、PTA活動に携わってくくださった方、先生方そして保護者の皆様の御協力に感謝しました三年間ありがとうございました。

今年度を振り返って

育成部長 永山 広明

今年度の育成部の主な活動は三つありました。一つ目は、マナーアップ運動における一声運動です。生徒登校時に、

卒業を迎えて

三学年主任 木村 雅善

三年生の保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。また、これまでの学年運営に對しまして多大なご協力とご理解を頂きまして心よりお礼申し上げます。思い起こせば三年前、中学校を卒業したばかりのお子様をお預かりさせて頂きました。が、時の流れはあっという間。卒業を迎えるばかりとなつてしまいました。担任としては、転勤により担任が

先生方と役員の方で行いました。こちらから「おはようございます。」と声をかけると元氣なあいさつが返って来て清々しい気分になりました。二つ目は、寒河江祭り神輿の祭典での巡回指導です。先生方とPTA役員の方と各部の役員の方が担ぎ班とボランティア班に分かれての活動です。担ぎ班は神輿後方に付いて渡御のサポートを行い、ボランティア班は各コースの最後尾に付いて、ゴミ拾い等を行いました。当日は天候にも恵まれ、大勢の観客の中、元氣と熱気あふれる渡御が無事終了しました。

三つ目は、寒工祭での一声運動です。マナーアップ運動と同様にりましたが、こちらでも元氣なあいさつが返ってきて大変良かったと思います。

最後に、一年間育成部長を務めさせていただきましたが、先生方と役員の皆様にはお世話になり、また協力頂きました。

変更になったり、毎年学年担任が変更になったりで不安がなかったわけではありませんが、保護者の皆様のご協力、そして何より生徒自身の成長が乗り越える原動力だったと感じております。また、お子様の高校生活において様々な足踏けない点もあったことと思います。今後の学校運営に活かしていきたいと存じます。のでご容赦頂ければ幸いです。最後にありますが、この学校を巣立っていく生徒諸君の幸多からんことを願い、挨拶とさせていただきます。

今年度を振り返って

文教部長 白田 秀朋

平成三十年度のPTA活動も残りわずかとなりました。文教部では、寒工高PTA新聞「輝くエンジニア」の発行を行っております。

伝統ある寒工高と光り輝く子供達の様子をわかり易く、また、保護者の皆様にも、この新聞を通して、各地区ことのボランティア活動、神輿の祭典への参加、研究発表、生徒会活動、部活動での活躍等を掲載する事で、子供達の日々頑張っている様子を、紙面を通してお伝えできればと活動して参りました。

最後に、PTA新聞作成にご協力頂きました皆様、担当の先生方に感謝申し上げます。三年間大変ありがとうございました。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動、並びにPTA活動に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

村山地区および県の総会・研究会大会等の参加についても、役員の皆様を中心にご対応いただき感謝申し上げます。次年度、東北大会が山形市で開催されますので、今年度同様にご協力をお願いいたします。

各地区PTAによる夏季懇談会、ボランティア活動の取組みにも感謝申し上げます。このようないくつかの取組みのおかげで、様々な場面で高い評価をいただいております。他校に誇れる活動の一つでもあります。今後ともご尽力を賜りますようお願いいたします。

今年度の生徒の活躍をお知らせします。



「輝くエンジニア」を 目指して

校長
高橋 剛文

技術検定に付いては、前期で15名が合格（昨年同期11名）しており、後期の部分は3月中旬に合否が判明します。

公益社団法人全国工業高等学校長協会主催の顕彰制度であるジュニアマイスターにおいて、R科からゴールド2名、M科とE科から各2名シルバーを獲得しました。また申請中の者もあり、昨年を超える成績が期待できます。

メカトロアイディアコンテスト（工業研究部・機械班）においては、惜しくも3年連続の全国大会出場を逃し悔しい思いをしました。

一方、やまがた高校生ロボットコンテストでは、1年生チームが他校の3年生チームを打ち

負かし、優勝することができました。次年度以降のメカトロでの活躍が期待されます。

マイコンカーラリー山形県大会においてR科3年相摩、横の両名が優秀な成績をおさめ、ジャパンマイコンカーラリー全国大会への出場権を獲得、先日、東京での全国大会に参加しました。大いなる刺激と貴重な経験を学校にもたらしました。

運動部における一番の活躍は陸上部です。E科2年長岡が県新人大会2位、東北新人大会6位に輝きました。来年度のインターハイ出場の期待が膨らみます。

校舎改築について、PTA総会後の動きをお知らせします。

点の業務を完了しております。

(1) 敷地測量 (2) 地質調査 (3) 土壌状況調査 (4) 既存校舎等アスベスト含有調査、以上4

総務部

平成三十年度 学校評価アンケート

総務部部長 佐々木 裕章

会員の皆様からアンケートにご協力頂きありがとうございます。

概要は次の通りです。

○今年度は、データ比較等の観点から、前年度と同じ内容で実施した。

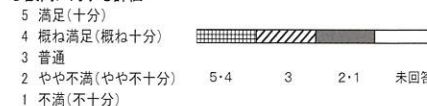
○回収率は、保護者が九七・二%、職員が一〇〇%。

○保護者からの評価は、前年度、全体的に上昇したが、今年度はやや下降し、例年並みの数値になった。また、職員による評価は、項目によって上下はあったものの、全体的にほぼ横ばいであった。

○今年度も、②のポイントが高く、④が低かった。

今後、記述部分も含めて結果を分析し、来年度に活かしていきます。

●設問に対する評価



①全体PTA関係(総会・レクリエーション等の取組みはどうか)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	65	94	143	5	0	0	3.7	▼0.1
教員	8	15	12	0	0	0	3.9	△0.2

②地区PTA関係(地区懇談会・ボランティア等の取組みはどうか)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	76	114	109	8	0	0	3.8	▼0.1
教員	9	14	11	0	1	0	3.9	△0.1

③学習指導(授業・定期考査・課題等の取組みはどうか)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	49	98	142	15	2	1	3.6	▼0.1
教員	2	13	14	6	0	0	3.3	0.0

④お子さんの家庭学習への取組みはどうか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	33	54	122	75	23	0	3.0	▼0.1
教員	1	1	10	20	3	0	2.3	▼0.1

⑤生徒指導(身だしなみ・交通安全等の取組みはどうか)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	76	99	123	8	1	0	3.8	△0.1
教員	1	10	13	10	1	0	3.0	▼0.4

⑥部活動指導はどうか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	79	94	104	21	8	1	3.7	0.0
教員	2	17	15	1	0	0	3.6	△0.2

⑦進路指導(就職・進学・公務員等の取組みはどうか)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	66	85	141	9	5	1	3.6	▼0.1
教員	3	22	10	0	0	0	3.8	△0.2

⑧お子さんの進路活動への取組みはどうか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	54	73	141	28	10	1	3.4	▼0.1
教員	2	17	13	3	0	0	3.5	△0.1

⑨保健活動(健康・安全・衛生等の取組みはどうか)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	58	77	170	2	0	0	3.6	▼0.1
教員	5	17	11	2	0	0	3.7	△0.1

⑩個別指導・カウンセリング・特別支援教育等の取組みはどうか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	51	67	176	9	1	2	3.5	▼0.1
教員	2	15	12	5	1	0	3.3	△0.1

⑪各科(資格取得・ものづくり等の取組みはどうか)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	67	95	130	12	3	0	3.7	△0.1
教員	6	19	9	1	0	0	3.9	△0.2

⑫各学年・各クラスの取組みはどうか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	67	88	148	4	0	0	3.7	0
教員	3	13	18	1	0	0	3.5	▼0.1

⑬学校からの様々な情報提供はどうか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	58	87	139	20	3	0	3.6	0
教員	4	8	20	3	0	0	3.4	▼0.1

⑭いじめの早期発見のための取組みとその後の対応はどうか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	64	75	157	7	2	2	3.6	0
教員	4	16	11	2	0	2	3.7	0

小学生と高校生の ものづくり教室

情報技術科 伊藤 俊春

今年のものづくり体験教室は、ペットボトルで作る『手作り燃料電池』という内容で実施した。出来るだけ簡単に、尚かつ身近なものを使い、電気を身近に感じてもらう事を考えた。はんだ付け等の難しい部分を一つのユニットとしてケースに入れ、当日は全員完成することを目指し準備を行った。生徒はプレゼンテーションや体験教室の進行を何度も練習し、当日を迎えた。本番は練習の成果を遺憾なく発揮し、電池の仕組みや組み立て方の説明や上手に出来ない児童のアシストを積極的に行ってくれた。また、夏休みの自由研究にも使えるような内容を盛り込むことも考慮し、持ち帰って実験することも出来るように工夫を凝らした。製作は勿論、実験に使用する材料や道具も特別なモノを使用しないため、燃料電池をより身近なモノとして受け入れてくれたらと思うている。燃料電池というテーマは、再生可能エネルギーに関する内



容でもあり、保護者も感心があったのではないだろうか。作った燃料電池は電力変換量も少なく、LEDを点灯させることやブザーを鳴らすことぐらいしか出来ないのだが、この体験によって少し身近になったのではないだろうか。この便利な生活は目に見えない電気によってもたらされている。目に見えないから解りづらいが、正しく理解して活用することが大事である。このものづくり教室で電気や再生可能エネルギーに興味をもってくれることを願う。

生徒指導部より

報告と御礼

生徒指導部長 赤井芳賀寿

今年度も皆様のご支援とご協力のおかげで、生徒指導部に関する行事について、そのすべてを無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。今年度の生徒会の目標は「全校生徒がマナーを守り、楽しい学校生活を送るために先頭に立って行動する」でした。さらに地域に根ざした活動を積極的に行うことも目指してきました。6月の「若草のみち」除草・植栽活動では、中央工業団地および町内会の多くの方々が参加され、本校生徒職員と協力して活動していただき、沿道が華やかに整備されました。9月の寒河江祭り神輿の祭典では、今年度は1・2年生中心の参加でしたが、例年同様に盛り上がり、さらには長年の活動を評価され、寒河江商工会議所より児童文化賞善行ボランティア部門で優秀賞をいただきました。10月には「祭in未来工房」平成最終章「健康で

保健部より

養護助教諭 金澤 志保

ネットやSNS、スマートフォンとの繋がりに便利な世の中となりました。生徒たちを取り巻く環境は今も刻々と変化し続けていますが、周囲の環境と共に生徒自身の生活や行動も変化していると感じます。直接人と言葉を交わすという機会も減り、人と関わる上で大切な最低限のルール等を知る機会も失われつつあります。人との関わりから学ぶことはとても多く、これから生きていく上で重要なものとなります。また、ネット上でトラブルに合うケース

文化的な最上級の寒工祭」のテーマで寒工祭を開催し、例年以上に生徒同士の絆の大切さを感じながら充実したものとなりました。今年度も左沢高校と連携し、本校からはラジコンカーの実演、左沢高校からは校内制作商品の販売と、両校お互いに協力しあいました。交通安全指導に関しても、6月の交通安全街頭指導を皮切りに交通安全街頭指導を年3回、朝の登校時に実施して交通安全啓蒙の啓発を図りました。この活動に際し、特にPTA育成部の方々と協力していただきました。最後に、普段の生徒指導について、今年度は残念ながら本校に関係する事故や問題行動、いじめは撲滅できませんでした。来年度は今年度以上に学校行事を充実させ、生徒自らが気付かせる行動できるように生徒会からの啓蒙活動により積極的に実施したいと考えております。また、事故やいじめの撲滅にむけての指導を徹底していく所存です。これからもご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

も確実に増えており、危険と隣り合わせで生徒たちは毎日生活しているのです。性犯罪・(デート)DV・望まない妊娠や出産といった「性」に関する問題も近年更に深刻化・多様化しています。本校では、性・生命・育児等の家族人生計画・人権などの学習を通して、この先自分の身に起こるかもしれない事柄を学び、そして向き合い、自分で考える機会を提供してきました。卒業後すぐに社会に出ていく生徒が多い本校だからこそ、近い将来役立ち取り組みを継続し、生徒たちが自ら長い人生をより良いものとしていけるよう、保護者の皆様と共にお子さんをサポートしていきたいと思っております。

成長できた三年間

前生徒会長 永山 拓海



私が生徒会長になる前は、これまで生徒会での活動経験がなく不安な気持ちがありました。しかし、生徒会のメンバーや先生と話し合うことで、行事の成功へとつながってきました。他にも様々な体験を通して、周りを見て臨機応変に行動することや人前で自信を持って話すことなど前までの自分とはなりました。自分の長所を伸ばすことができました。苦しいことも改善できたりなど、とても良い経験をさせていただきました。

学校行事やボランティア活動では絆を深めることや共に協力することの大切さを学ぶことができました。行事の体育祭や寒工祭ではクラスは 물론、学校全体が力を合わせて一つになったと思えました。全校生徒の協力がなかったら行事を成功させることはできなかったと思います。本当に感謝しています。ボランティア活動はこの寒河江工業高校の伝統であり力を入れてきました。特に寒河江祭り神輿の祭典や若草の道植栽活動を行い地域の方々やコミュニケーションを取り、とても良い経験ができたと思います。この伝統をこれから先も続けていってほしいと思います。そして、地域の方々と協力して地域に根ざした寒河江工業らしい高校を作り上げていってほしいです。

高校三年間と生徒会長を務めた一年間は私にとってとても貴重な経験ができました。この寒河江工業で多くのことを学んだことで今の自分があるのだと感じました。苦しい部分も克服できたなど、人として成長することができました。ありがとうございました。

我がまちのトピックス

ボランティア活動

山辺地区会長 中西 宏一

山辺地区の親子ボランティア活動は、羽前山辺駅構外の草刈りを行いました。

七月八日(日) 早朝六時に羽前山辺駅に集合し、作業を開始しました。今にも雨が降りそうなどんよりとした天候の中、皆さん一生懸命に草むしりを行いました。雑草がだいふ伸びていた所もあり鎌を使ったりして、自転車置場から駅の入口に繋がる通路の付近を重点的に行いました。

約一時間位の作業でしたが、高校生になり親子で参加する行事が少ないなか、地区のボランティア活動を通して高校生になった子供達の家以外での様子が垣間見えた様な気がし、いい思い出になる事と思います。

又、子供達がこのような活動を経験する事によって、地域や社会に貢献できる社会人に成長していくように、今後もボランティア活動を継続していただきたいと思います。



当日参加していただきました皆様、お疲れ様でした。

寒河江南地区会長 鈴木 繁

毎年八月第一日曜日に、特別養護老人ホーム「長生園」にて、父兄の皆さんと一緒に窓拭きと車いすの清掃作業を実施しています。

また、一昨年より長生園のご厚意で寒河江市より講師を招いて、「痴呆症サポーター養成講習会」を開催して頂き、認知症の基礎知識として、認知症の症状やその方たちへの対応の仕方などを教えて頂きました。今後自分の親や周辺の住民の方でも可能性のある事なので興味深く聞かせていただきました。

さて、作業の方は職員から清掃の手順を教えてもらい班別で作業に移りますが、生徒のみんなが率先して作業に取り掛かり手際よく作業をする姿には頼もしく思えました。

今後として、職員との話で車いすが良く壊れてしまうとの事でしたので、車いすの寄贈を検討していきたいと思えます。貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございます。ございました。



本番に強い生徒たち

一学年主任 菊池 敏宏

二学年として大きな行事が2つありました。一つは七月に行なったインターンシップです。

来年の本番を前に、自分自身の将来について真剣に考え、実際にやってみることで更に深く考えさせることができればと、今年全員から希望を出させそれを優先して割り振り、実習先にアポを取り全員が事前打合せを行いました。正直不安もありましたが、結果的には一人一人が目的を理解し真剣に取り組んできたと思います。九月五日には学年の報告会を実施し全体で共有することができました。事後のアンケート等を見ると企業の方からも好印象を持って頂いたようです。

二つ目は修学旅行です。業者選定から始まり企画・準備・実施と非常に長い時間と経費が掛かる一大イベントでしたが、保護者の皆様のご理解とご協力もあり、無事に終わることができました。何より良かったと思います。そして旅行の目的である伝統的な文化財や最先端技術等の見学により見聞を広めることに、集団生活を通して個人個人がどう行動すべきかという二つの目的が、しっかりと達成できたのではないかと思います。

二つとも生徒たちの「本番での強さ」を実感することができたものでした。

しかし、修学旅行直前の中間テストでは欠点の数が過去最多になってしまいました。学習面だけでなく様々な面で改善が必要な生徒がいることも事実です。「本番」だけでなく「普段の学校生活」も強くなってほしいものです。この二つの行事を自分自身が変わるきっかけにできれば更に有意義なものになるでしょう。まずは一〇七名全員が三年生に進級することを目標に一人一人が努力し、「一番大切な本番」でも強さが発揮できるようにしっかりと準備をしてください。

新会長として

新生徒会長 遠田 武蔵



このたびは新生徒会を引き継ぎ、生徒会長に就任した二年電子機械化の遠田武蔵です。私は昨年常任委員として活動していましたが、生徒会長のような人の上に立ちみんなをまとめるようなことは初めてで不安です。生徒会長らしくいなければという焦りもあります。そんな中で、自分らしく生徒会のメンバーと全校生でより良い学校にしていきたいと思っています。私がこれから生徒会活動を行っていくにあたり、やらなければならぬことがあります。それは寒工祭です。寒工祭は大きな行事の一つで、全校生が楽しく笑顔になれるように企画を考えてスムーズに行事が進むように運営しなければなりません。だから、学校全体と生徒会の協力が不可欠です。みんなで力を合わせて最高の思い出になるように頑張ります。

以下のことを達成できるように、平日頃から緊張感を持って行動し言動などにも気を付けて信頼してもらえよう。に精一杯努力して邁進していきたく思いますのでよろしくお願いいたします。



機械科



電子機械科



情報技術科

感謝

バレー部顧問 天野 吉貴

現在三年生二名、二年生六名、一年生一〇名で活動しています。目的と目標を共有し活動できることに本当に感謝しております。競技をするために人、競技をする前に人、人を大切にし、人を認めながら人間の力を磨いていってほしいと願っています。そのために、どんな時でも気持ちの良い挨拶。きちんと返事をし、自分の考えを伝えることができる。整理整頓し、心を整えること



進路指導部より

進路指導部部長 遠藤 文子

進路希望を実現させた三年生の皆さん、進路達成おめでとうございます。

今年度の進路状況を報告します。三年生の在籍は九八名。八月当初の進路志望状況は、約七割が民間就職、三割が進学希望でした。就職希望のほとんどの人が自宅から通動できる県内企業を希望し、内定もほぼ同様の割合となりました。公務員関係は、二人が希望通りの道へ進むことになりました。進学については、ほとんどの生徒が推薦入試・AO入試で受験し、四年制大学合格五名、短期大学合格二

とを積み重ねていきたいと思います。

目的は、バレーボールを通して、チームと一緒に幸せな時間を創る。このチームだからできる挑戦です。目標は、県ベスト四です。そのために練習は誰のためにするかを考え、練習に対する姿勢と行動をどのように継続していくかです。今、自分がいる環境で、どれだけベストを尽くすかが何よりも大切になってきます。高校生としての本文をバランス良く学び明るく、素直に、誠実に成長を願っています

工業研究部機械班の活動

工業研究部顧問 高橋 直人

主な活動として「第二回やまがた高校生ロボットコンテ

名、県立産業技術短期大学校への合格十名など、となっていました。

就職の第一志望合格率は85.9%（昨年度78.6%）でした。求人数は昨年度を上回りま幅が広がりましたが、企業としては人員不足としながらも求める基準に達していない受験生は採用しないという姿勢があります。面接の質問に対してきちんと答えられない、答えの内容が薄い、また、基礎学力不足、チームワークを必要とする職場での適性が不安視された、などが不合格の理由として挙げられました。

進学的第一志望合格率は89.

スト」へ出場するためロボットの製作に取り組みました。



大会のルールは空き缶、ペットボトル、牛乳パックをコートから拾い、ゴミ箱へ分別して捨てるといった内容です。実際にロボットの製作するとそう簡単にはいきません。部長を中心に、部員で何度もアイディアを出し合いながら少しずつ製作を進めていきました。ロボットの形になっていくにつれ、部員達の表情も生き生きとなり、結束が強くなっていききました。コツコツと努力し、幾度の課題に対してもあきらめないで取り組んだ結果、大会では見事、優勝

1%（昨年度97.1%）でした。進学については生徒数減等により希望の叶いや状況となつていますが、医療系四年制大学などへの進学は依然として難易度が高く、ある一定の学力が求められます。また、入試方法も多様化し、早めに希望校、受験方法を考え、対策を練ることが大切です。同時に自分を自己PRするための材料、体験を多くすること、それを書いたり、話したりする力を養うことも必要になってきています。

今年度も多くの方々を支えられ、進学・就職ともに三年生の頑張りが表れた進路活動、内定状況となりました。関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

をすることができました。これからも工業研究部では、ロボットの製作、各種検定試験への挑戦などに取り組み、「ものづくり力」を高められるよう活動していきたいと思っています。

「吹奏楽」から何を学ぶか

吹奏楽部顧問 田中 祐輔

寒河江工業高校吹奏楽部は今年度、昨年度以上に活動の幅を広げ、様々なことに挑戦してきました。デイサービスへの訪問演奏、他校との交流演奏会、大会への参加等、様々な方々のご支援もあり非常に充実した一年を過ごすことができました。日々の活動の中では、時間を大切にすることが、何を常に意識しており、初めは低かった意識も少しずつではありますが良い方向に向かっています。これからの成長が本当に楽しみです。

部活動の目的の一つは「人柄を磨く」ことです。人柄という言葉に含まれる意味は多岐に渡るかと思いますが、あいさつ、返事、気を使って動く、すべて生きていく上で必要な能力です。日々溢れる学びの中で何を学んでいくのか、共に考えながらこれからの良い活動していきましよう。



1学年を振り返って

一学年主任 奥山 靖春

今年も、一一〇名の新入生を迎え、寒工高一学年がスタート。入学後、生徒達を待ち受けていたのは、新たな人間関係の構築と勉強です。勉強は教科書がありますが、新たな関係の構築は手探りで、苦労している生徒も多かった様です。入学したては同じ中学校、席が近い同士の輪でしたが、学期が進むにつれ部活の輪など、クラスを越えた繋がりがもててきました。そして体育祭では、競技するメンバーを必死に応援する姿にクラスの団結が生まれてきたことを感じ、寒工祭では人間モグラたたきやお化け屋敷、射的など各クラス工夫を凝らした企画に取り組めるようになりました。そして三学期。勉強のまとめをする重要な学期です。二学期の結果を見ると、学習への取り組みはもちろん、提出物への取り組みが甘い生徒が見受けられました。勉強したくて入った高校です。全員進級できるよう頑張らせまうので、保護者の皆様のご協力と応援をお願いします。